

## 中 国 語 科

日本には、隣国の中国から漢字をはじめとする文化に関する様々な影響を強く受けた歴史があり、日本人は中国文化に非常に親近感を持ってきました。ところが、近年中国の目覚ましい経済発展により、日中間の関係は益々親密になると同時に様々な摩擦も起きています。相互理解の不足により日中の間に色々な誤解が生じているという現状を認めざるを得ません。円滑なコミュニケーションで、お互いに正しく理解しあうためには相手の言葉を勉強する必要があります。中国語を勉強して、自分自身で中国に関する情報を集め、日中関係を冷静、かつ客観的に捉える分析力及び市民レベルでの密度の高い交流が必要な時代はすでに到来していると言えます。

さて、中国語は日本と同じように漢字を使っていますので、簡単なように感じられます。ただ、日本人の学習者にとって、中国語の発音は難しいとよく言われます。それは、1つには子音、母音の数が日本語よりずっと多く、さらに「四声」と言われる4つの声調があるからです。それに語尾変化がなく、助詞も少ないので、文法についても英語や日本語とは異なる特徴が多いと言われます。

慶應外語の中国語科には長い伝統があり、優秀な講師を揃え、時代のニーズに合うよう授業の質を高めています。カリキュラムとしては、入門から最上級まで、それぞれのレベルの要望に応える授業を設置しています。入門から上級Ⅰまでは、文法中心のクラスは日本人講師が、会話中心のクラスはネイティブ講師が担当しています。上級Ⅱ・最上級は、全てネイティブ講師が担当しています。このようにして、入門から最上級まで、すべてのレベルで常に生の中国語が聴けるよう、力を入れています。

受講希望の方は、まず、ご自分のレベルに一番あったクラスを選ぶことが大切です。「レベル目安」および各講座の講座内容を熟読して、ご自身のレベルに最も近い講座を選んでください。「聞く・話す・読む・書く」の総合的な力を養いたい場合、同じレベルの複数の講座を同時に受講することをお勧めします。もちろん、ご自身の状況に応じて、1つの講座だけを受講したり、前後するレベルの複数講座を受講したりすることも可能です。

この機会に、ぜひ慶應外語で楽しく中国語を勉強してください。